



「自転車」問題について連携して取り組む！ ～全国自転車問題自治体連絡協議会第22回総会を開催～

と き 5月23日（木）午後2時～4時45分

ところ 船橋グランドホテル（船橋市本町7-11-1）

23日、全国自転車問題自治体連絡協議会（会長は志村豊志郎練馬区長、正会員128市区町）の第22回総会が開催された。来賓として国会議員や内閣府等関係省庁を迎え、84団体およそ200人が参加した。

志村会長からは、「放置自転車問題の抜本的な解決に向け、『自転車法改正による鉄道事業者への自転車駐車場の付置義務化および市区町村が走行環境整備に柔軟に取り組める環境の創出』を、国に要望してきたが、未だ自転車法の改正には至っていない。引き続き自転車法の改正を求めるとともに、今後も全自連として、鉄道事業者との協議の場を実現できるよう、国に働きかけていきたい。また、自転車問題の新たな課題として『走行環境の整備』や『自転車利用のマナー』について、全自連として取り組んでいくことを、大会決議に盛り込んできた。今後も全自連の結束をさらに強めていく中で、自転車問題解決の実現を図っていきたい。」と挨拶があり、第一部総会が始まった。第二部自転車問題解決促進大会では、放置自転車の解消と、環境にやさしい乗り物である自転車の走行環境整備について、大会決議を行った。

第三部では、「自転車対策の方向性について（負の要因から正の要因への変革）」をテーマに、榛澤 芳雄氏（日本大学名誉教授）の講演会が行われた。

【全自連の経緯と現在の取組】

○経緯

自転車に関する問題は、国の総合的な政策が無いため区市町村が中心となって対策を講じてきた。しかし自治体ゆえ、情報の収集や交換にも限界を生じている。そこで、全国自転車問題自治体連絡協議会（全自連）は、自治体相互の連携を深め、自転車問題の解決を図るために組織された。全自連では国や自転車問題に関わる国会議員や関係省庁に対し、鉄道事業者を含め社会全体での自転車問題に取り組むよう協力を求めている。

○具体的な取組

- ①自転車に関する諸問題について、自治体同士の連携を深め、情報の共有化を図るために、全日本研修会を実施している。本年度は、愛媛県松山市で10月に開催予定。
- ②放置自転車対策について、全自連のホームページ（<http://www.zenjiren.jp/>）を立ち上げ、取組みを紹介している。

【大会決議】

自転車問題の抜本的解決を図り、自転車の適正利用を推進するため下記の事項を決議する。

- 1) 鉄道事業者に対し鉄道の駅に自転車駐車場の付置義務を課すよう、国に法改正を求める。
- 2) 市区町村が行う自転車走行環境の整備に対し、国および都道府県が、支援策を拡充・拡大するとともに、市区町村が走行環境整備に柔軟に取り組むことができる環境創出に努めることを求める。